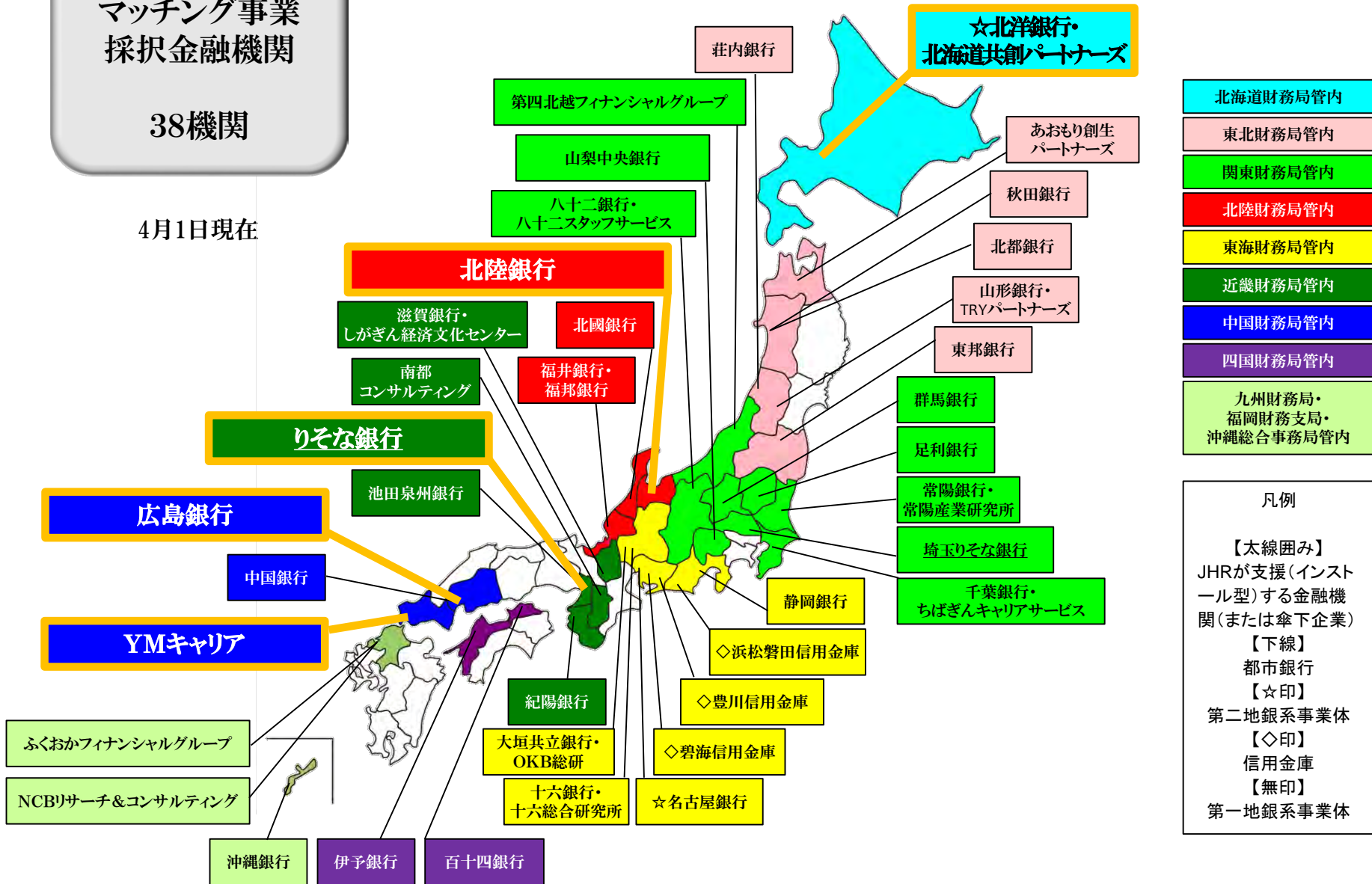


先導的人材
マッチング事業
採択金融機関

38機関

4月1日現在



- 凡例
- 【太線囲み】 JHRが支援(インストール型)する金融機関(または傘下企業)
 - 【下線】 都市銀行
 - 【☆印】 第二地銀系事業体
 - 【◇印】 信用金庫
 - 【無印】 第一地銀系事業体

首都圏人材の現状

地方転職啓発メディア

「地方企業×幹部求人」
マッチングメディア

GLOCAL
MISSION
Times

地方創生分野 NO1メディアに

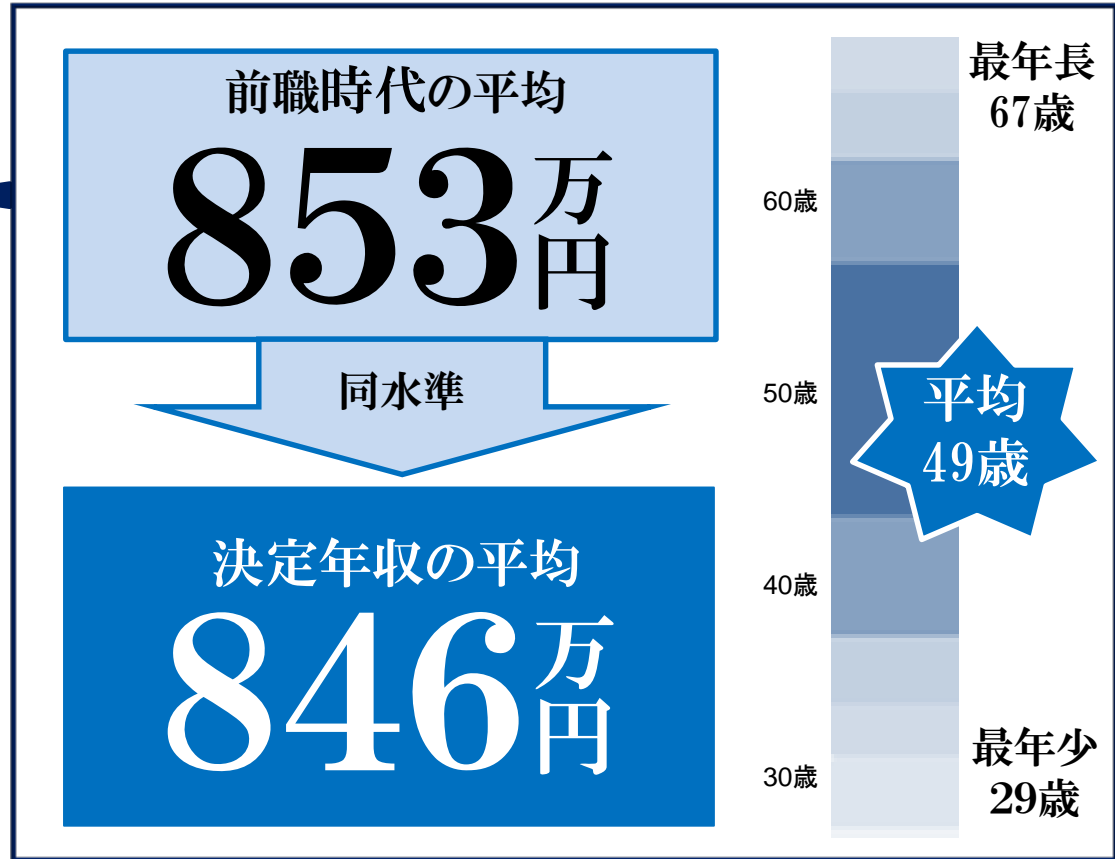
GLOCAL
MISSION
Jobs

一求人当たりの応募数が
大手転職サイト水準に到達

今後民営化を予定

総件数
559件中

人材紹介
189件



伴走型支援サービスが機能

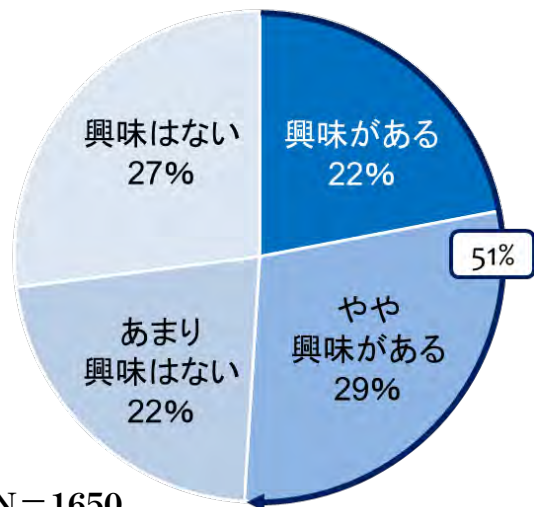
仕事が面白ければ
人は動く

経営幹部であれば
高年俸は実現可能

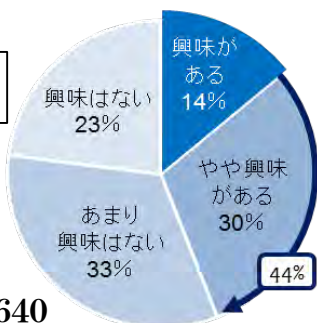
当たり前になりつつある地方転職(2019年度首都圏管理職就業意識調査)

地方企業への興味は14%→22%に

Q：地方企業（東京・大阪・名古屋などの主要都市を除く）で働くことに興味はありますか？

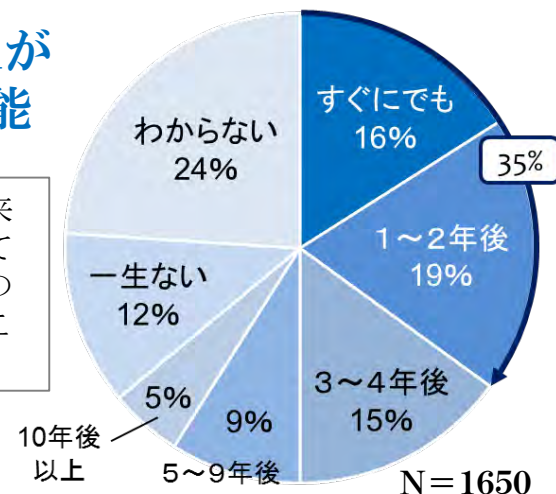


(参考)
2016年度



魅力あるオファーなら 3分の1が 1~2年後までに地方転職可能

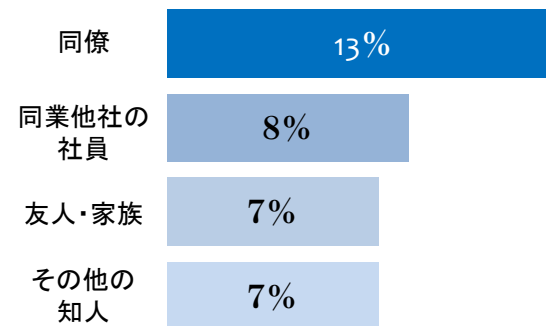
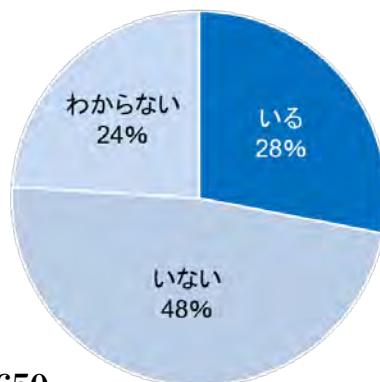
Q：十分に魅力のあるオファーが来ると仮定して、あなた自身にとって、どのタイミングであれば、地方の中堅中小企業（への転職をすることができますか？



“周囲の地方転職”を28%が目撃

Q：あなたの周りの首都圏のビジネスパーソンで、最近2~3年のうちに地方の中堅中小企業（売上高10~100億円程度）に転職された方はいますか？

Q：左で「いる」と答えた方に質問です。周囲のどのような方が地方の中堅中小企業に転職されましたか？（複数回答）

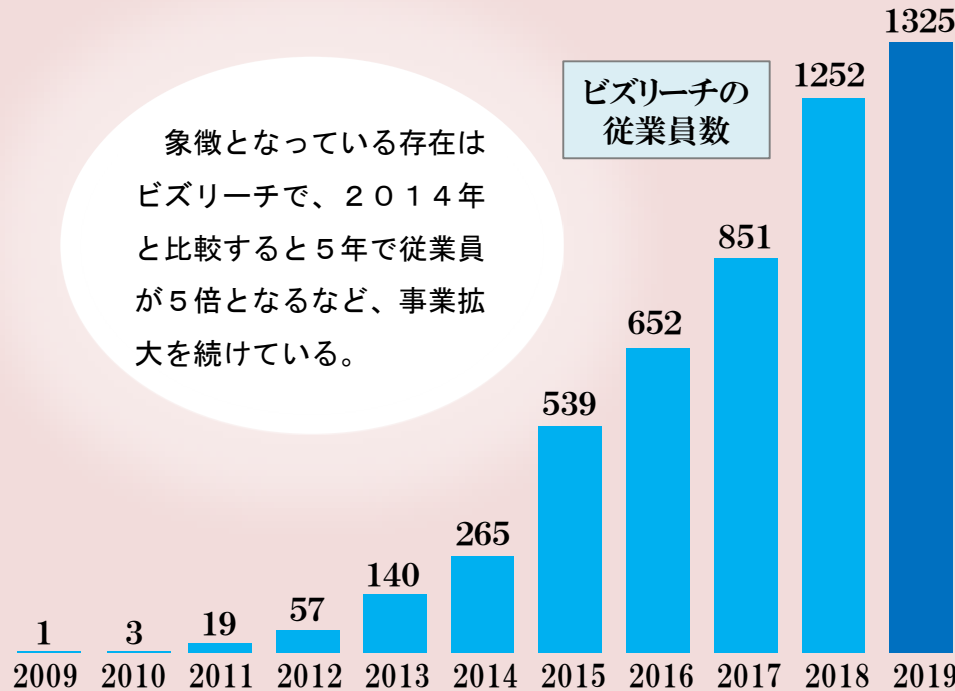


民間人材データベースの成長

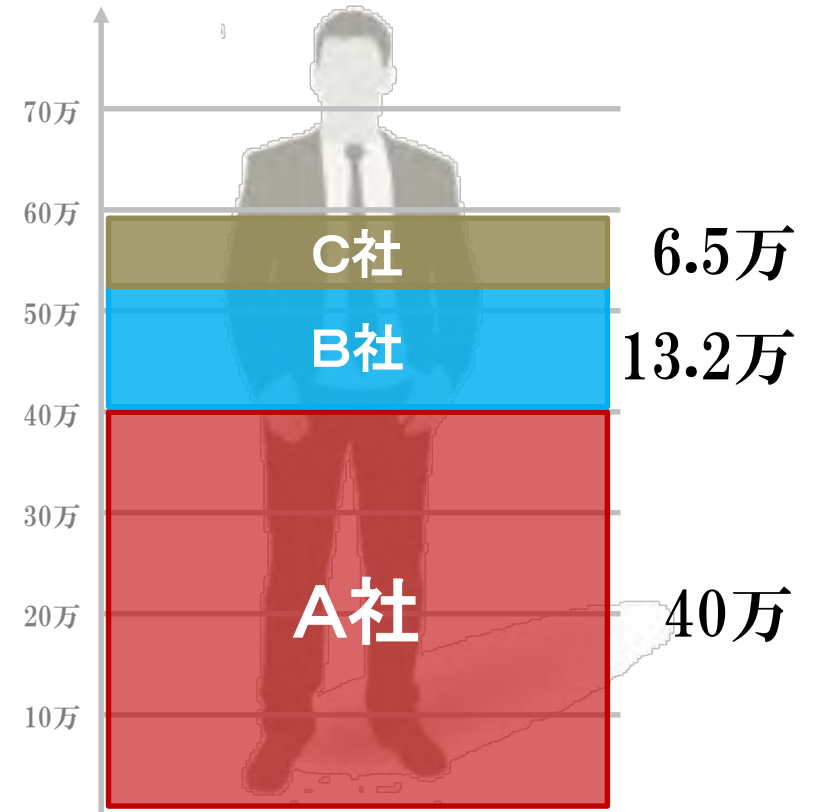
かつては各人材紹介会社が、“門外不出”のデータベースを持ち、それが人材紹介会社の強みとなっていた。近年、こうした“囲い込み”を覆し、企業や人材会社等がニーズに合わせて幅広く利用できる人材データベース(転職希望者が自ら登録)が急成長を遂げた。特にハイクラス層(概ね700万円以上)DBは大きく市場を広げた。

象徴となっている存在はビズリーチで、2014年と比較すると5年で従業員が5倍となるなど、事業拡大を続けている。

ビズリーチの従業員数



転職活動中の60万人にアクセス可能



まとめ

まとめ

地方企業に必要な支援は「伴走型」

最適な担い手は、地域金融機関

首都圏人材は、仕事が面白ければ動く

候補者へのアクセスは容易に

官から民に主役が交代する時期が到来

株式会社日本人材機構
代表取締役社長

小城武彦

おぎ・たけひこ

- 1984年 通商産業省(現経済産業省) 入省
- 1997年 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 入社
- 2002年 同社 代表取締役常務
- 2004年 株式会社産業再生機構 入社
カネボウ株式会社 代表執行役社長(出向)
- 2007年 丸善株式会社 代表取締役社長
- 2010年 丸善CHIホールディングス株式会社 代表取締役社長
- 2015年 株式会社日本人材機構 代表取締役社長(現職)

兼職 株式会社西武ホールディングス 社外取締役
株式会社ミスミグループ本社 社外取締役
金融庁参与、経済産業大臣官房参事
学校法人 至善館 理事



東京大学法学部卒
プリンストン大学
ウッドローウィルソン大学院修了
(国際関係論専攻)
東京大学大学院
経済学研究科博士課程修了
博士(経済学)(専門 経営組織論)



新しい人、新しい地方へ。

日本人材機構

JAPAN HUMAN RESOURCES